



豊岡市高齢者見守りネットワーク事業 ～地域全体で高齢者を見守りましょう！～

市では、高齢者の虐待や孤立等を防止し、高齢者が住み慣れた地域で安心して生きいきと暮らせる地域づくりを推進するため、地域や生活関連事業者、社会福祉協議会などの協力を得て、10月から各地域包括支援センターを拠点とした「高齢者見守りネットワーク事業」を展開している。

この1カ月で多くの事業者などの協力を得られ、所期の目的を達成できる見込みとなったため、事業概要などをお知らせする。

1 経緯

- ・今後豊岡市の人口は減少する見込みであるが、高齢者は増加し、高齢化率も高くなることが予想される。

	人口(人)	高齢者数(人)	高齢化率(%)
H23.10.1 現在	88,323	24,183	27.38
H26.10.1 推計	84,241	25,423	30.18
比較	-4,082	+1,240	+2.8 ポイント

- ・こうした状況の中で、高齢者ができる限り住み慣れた地域で安心して生きいきと暮らしていくためには、公的なサービスだけではなく、インフォーマルサービス（近隣や地域社会、民間やボランティアなどの非公式な援助活動）地域の見守り、支え合いが必要となってきた。
- ・地域では、高齢者見守りネットワーク事業を始める前から地区の役員や民生委員児童委員等を中心とした見守り活動を展開されている。それでも、高齢者虐待や孤立死等の問題が発生しており、さらに体制を強化する必要がある。

2 目的

この事業では、さらに、生活関連事業者などにも協力を依頼し、「新聞や郵便が溜まっている。」「電灯がつきっぱなしになっている。」など、異変を察知する「気づきの目」を増やすことによって、地域全体で見守り支え合うと同時に、高齢者が抱える問題等の早期発見・対応ができる体制の構築を目指す。

3 内容

地域住民や生活関連事業者などは、見守る人見守られる人を特定せず常日頃から高齢者をさりげなく見守る。



地域住民や生活関連事業者などは、「気づきのポイント」を参考に、何らかの異変等に気づいた場合は地区の役員、民生委員児童委員、地域包括支援センター、市役所などに連絡する。

地域包括支援センターは、援助が必要な方に対して、関係機関（者）と連携・協力しながら支援やサービス提供を行う。

4 開始時期

10月3日～

一斉スタートではなく、各団体等は承諾の返答をされた時点から協力スタート

5 「高齢者見守りネットワーク」の協力団体等

(1) これまでからの見守り団体であり、高齢者見守りネットワークに参加

区長連合会・地区関係（区長、地区役員、近隣住民、福祉委員）

民生委員児童委員連合会関係（民生委員児童委員、民生児童協力委員）

老人クラブ連合会（老人クラブ会員）

(2) 新たに高齢者見守りネットワークに参加

種別	名称・業種名等	件数
公的機関	警察署、公立医療機関、消防署	12
協力団体	医師会、歯科医師会、薬剤師会、商工会議所、 商工会、シルバー人材センター	6
事業者	郵便局	5
	配食事業者	15
	新聞販売店	23
	飲料販売店	8
	金融機関	2
	介護保険事業者	134
計		205

今後も随時依頼し、協力事業者等を増やしていく

6 周知の方法

「高齢者見守りネットワーク」の協力団体等には、連絡先等を明記したパンフレット、ステッカー等の啓発資料を配布し、関係者の意識を高め、必要時には迅速に地域包括支援センター等に連絡できるようにする。



【参考】

気づきのポイント

近所との交流がない。
洗濯物が干しっぱなしになっている。
庭や家屋の手入れがされなくなった。
日中でも雨戸やカーテンが閉まりっぱなしになっている。
新聞や郵便が溜まっている。
最近、姿を見かけない。
電灯がつきっぱなし。あるいは夜になってもつかない。
電話や訪問に応答がない。
深夜に出歩いている。道に迷っている。
繰り返し同じ物を買ったり、同じことを言う。
季節に合わない服装をしている。
家から怒鳴り声や泣き声が聞こえたり、大きな物音がする。
顔や腕などに不自然なあざが目につくようになった。
最近目立ってやせてきた、顔色が悪い。
最近、見慣れない人や車の出入りが多くなった。

〔問合せ〕豊岡市健康福祉部高年福祉課 TEL 0796-24-2409